

医療クオリティ マネジャー養成セミナー

募集案内 医療の質評価・継続的な質改善活動の推進役を目指す



同じ志をもつ
仲間と出会えます!



質改善の知識・スキルを
体系的・実践的に
学べます!



セミナー修了後、
質改善を実践した方を
認定します!*

* 認定には要件があります

≪ 2020年度 開催日程(各回 最大定員70名) ≫

		第1回(第23期生)	第2回(第24期生)
A.オリエンテーション		2020年10月5日(月) 13:00~14:00	2020年11月24日(火) 13:00~14:00
前期	B.講義動画 (オンデマンド配信)	10月上旬より視聴可能	11月下旬より視聴可能
	C.ライブウェビナー	2020年10月16日(金) 10:00~11:30	2020年12月4日(金) 10:00~11:30
	D.ライブウェビナー	2020年11月20日(金) 10:00~15:45(昼休憩あり)	2021年1月22日(金) 13:00~18:00
E.後期に向けた課題		3週間	3週間
後期	F.ライブウェビナー (2日間)	【1日目】2021年1月8日(金) 14:30~16:45 【2日目】2021年1月9日(土) 10:30~16:45	【1日目】2021年2月20日(土) 10:30~17:00 【2日目】2021年2月21日(日) 13:00~15:00
	G.グループ学習	4週間	4週間
	H.ライブウェビナー	2021年2月27日(土) 13:00~15:30	2021年3月27日(土) 13:00~15:30

- 各回A~Hセット(または の枠)でのお申し込みとなります。
- ライブウェビナーは、Zoomを使用したオンラインでの開催を予定しています。
長時間ZOOMに接続するため、インターネット環境の確認をお願いします。
(*ご注意 ポケットWi-fiの契約容量により安定した通信が保てない場合があります。)
- プログラム詳細は、裏面をご覧ください。

対象 医療の質管理の実務責任者、またはそれに準ずる方(職種・職位不問)

受講費 認定病院又は受審申込み済み病院に所属の方・・・120,000円(税別)
上記以外の病院に所属の方・・・180,000円(税別)

8/24(月)
受付開始

セミナー申込みはこちら
<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/education/qm/>

医療クオリティ マネジャー

検索



問い合わせ先

(公財) 公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部 教育研修課 担当 木村・石田

TEL:03-5217-2326 mail:kenshu@jqhc.or.jp

セミナーのねらい

1. 医療の質評価・改善に必要な知識・分析スキルの習得
2. 質改善活動を推進するためのリーダーシップやファシリテーションスキルの習得
3. 効果的・効率的に質改善活動推進のための立案力やマネジメントスキルの習得
4. 医療クオリティ マネジャーの役割を理解し、院内での質改善活動の実践イメージを掴む

前期プログラム

A. オリエンテーション (60分)

(敬称略)

科目	形式	講師	所属・役職
開会挨拶	-	橋本 迪生	公益財団法人日本医療機能評価機構 常務理事
ガイダンス	-	事務局	-

B. 講義動画 (各 50分)

科目	形式	講師	所属・役職
1 医療の質改善とQMの役割	講義	橋本 迪生	公益財団法人日本医療機能評価機構 常務理事
2 医療の質と評価	講義	梅里 良正	独立行政法人労働者健康安全機構 顧問
3 病院機能評価 QMとしてのポイント	講義	梅里 良正	独立行政法人労働者健康安全機構 顧問
4 患者満足度・職員満足度	講義	加藤 良平	株式会社ケアレビュー 代表取締役
5 医療の質指標の意義と活用法	講義	猪飼 宏	京都府 中丹広域振興局 健康福祉部 中丹西保健所 所長
6 プロジェクトマネジメント	講義	能登原 伸二	株式会社アイ・ティ・イノベーション 取締役 専務執行役員
7 コンフリクト・マネジメント	講義	荒神 裕之	山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 特任教授
8 データ収集・分析・フィードバック	講義	小林 美亜	静岡大学創造科学技術大学院 特任教授
9 リーダーシップ・ファシリテーション	講義	猶本 良夫	川崎医科大学総合医療センター 病院長 川崎医科大学 特任教授

C. ライブウェビナー (1時間30分)

科目	形式	講師	所属・役職
業務プロセスの改善 (前半)	講義 実習	水流 聡子	東京大学大学院工学系研究科 品質・医療 社会システム工学 寄付講座 特任教授

D. ライブウェビナー (2時間20分)

科目	形式	講師	所属・役職
1 講義動画に関する質疑応答	質疑	各講師	-
2 業務プロセスの改善 (後半)	講義	水流 聡子	東京大学大学院工学系研究科 品質・医療 社会システム工学 寄付講座 特任教授
3 リーダーシップ・ファシリテーション	質疑 GW	猶本 良夫	川崎医科大学総合医療センター 病院長 川崎医科大学 特任教授

E. 後期に向けた課題 (3週間)

科目	趣旨
自院の質改善活計画の立案など	前期プログラムを通じて学んだ内容を踏まえ、自院の医療の質を評価・分析し、質改善の実施計画を立てる。

後期プログラム 多職種のグループワークを通じ質改善活動の実践イメージを掴む

F. ライブウェビナー (7時間<2日間>)

(敬称略)

科目	形式	講師	所属・役職
1 病院機能評価に向けたQMの役割 ～自己評価～	GW	吉田 和幸 梅里 良正	医療法人財団 葛の木会 理事 独立行政法人労働者健康安全機構 顧問
2 病院機能評価に向けたQMの役割 ～マネジメント～	GW	吉田 和幸 梅里 良正	医療法人財団 葛の木会 理事 独立行政法人労働者健康安全機構 顧問
3 継続的な質改善活動の仕組みづくり	GW	上條 由美	昭和大学江東豊洲病院 副院長
4 データを活用した質改善活動	GW	荒井 康夫	北里大学病院 医療支援部 診療情報管理室 特別専門職
5 グループ学習の進め方	-	事務局	-

G. グループ学習 (4週間)

科目	趣旨
質改善活動計画の立案	グループ内で課題(質改善活動計画)を共有し、各課題について、メンバー全員で改善点(アイデア)を出し合う。 ※ 適宜、講師が支援

H. ライブウェビナー (2時間30分)

科目	形式	講師	所属・役職
グループ学習のまとめ発表 およびディスカッション	発表 討議	荒井 康夫	北里大学病院 医療支援部 診療情報管理室 特別専門職

● ライブウェビナーの記載時間は、休憩時間を除いた、講義・GW時間だけの時間です。

認定について

セミナー修了後、実際に病院内で質改善活動を推進している方を「医療クオリティ マネジャー」と認定します。

前期・後期
プログラム受講

セミナー
修了証発行

質改善活動の
実践

認定証発行



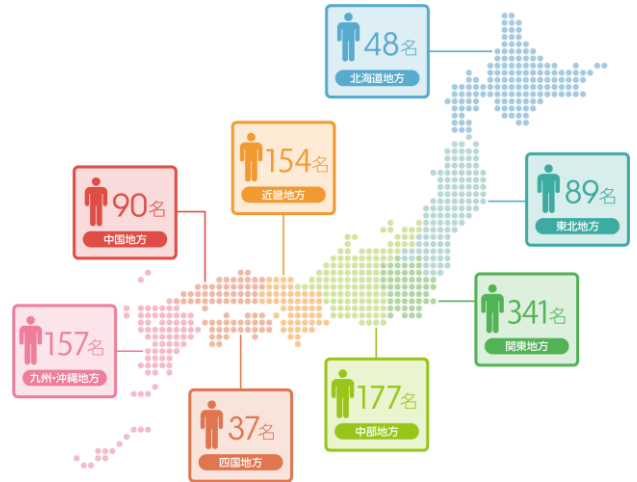
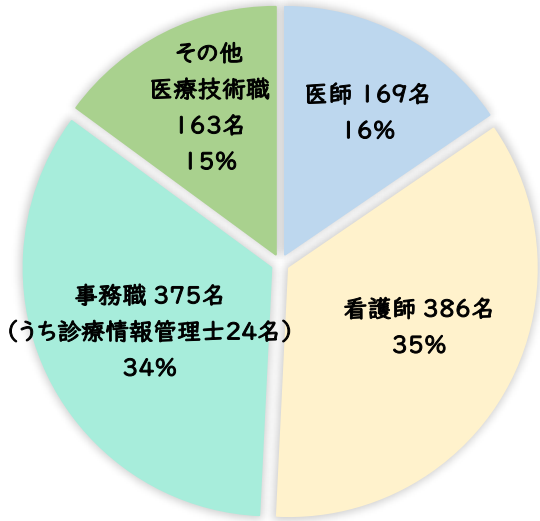
● 医療クオリティ マネジャーの認定には、質改善活動の実践レポートの提出が必要です。

詳細は、病院機能評価事業ホームページ (<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/post/qm/3477>) をご覧ください。

※本パンフレットの記載内容については、予告なく変更する場合があります。最新情報はホームページをご覧ください。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	合計
54名	166名	182名	143名	142名	149名	133名	124名	1,093名

修了者職種別割合



セミナー修了者の声～セミナーを受講して～

複数でご参加いただいた病院様からの声

医師

最初、病院から勧められた時はイメージがハッキリしませんでした。セミナーを終えてQMの重要性が認識できました。病院の将来を左右しかねない役割があるように感じました。

看護師

医療の質改善とは何かという本質を考える講義は深い学びとなりました。自院の質を俯瞰的に評価・分析するための知識・視点・スキルが身につきました。

事務職員

多職種のグループワークを通して、事務職の立場で組織横断的な質改善にどのように関与していけばよいのか具体的にイメージできるようになりました。

薬剤師

医療の質改善というテーマに焦点を当てたマネジメントやデータ分析のスキルを集中的に学べるのはこのセミナーだけだと思います。

病院を全体的に見ることのできる仲間がいるのは、心強いと実感しています。活動を広めるためには1人では難しい面もありますが、仲間ができたことで苦手な部門にも臆せず関われるようになりました。
(医師)

同じ研修を受けた仲間がいるので、取り組みの目的を共有でき、院内での質改善活動がスムーズに行えるようになりました。他の職種と話す機会が増え、普段の業務も行いやすくなりました。
(看護師)



※セミナー後のアンケートより抜粋

参考

病院機能評価の評価項目「1.5.3 業務の質改善に継続的に取り組んでいる」の中にも、「医療の質評価・分析に関する専門的な教育を受けた担当者(医療クオリティマネジャー)を中心とした質改善の取り組みが求められる。」と記載されています。